

議員提出第16号

首相主催の「桜を見る会」私物化疑惑の真相の徹底究明を求める意見書

吉川市議会会議規則第13条の規定により、上記意見書を別紙のとおり提出する。

令和元年12月13日

提出者 吉川市議会議員 小林 昭子

賛成者 吉川市議会議員 濱田 美弥

〃 遠藤 義法

吉川市議会議長 中嶋 通治 様

提案理由 口頭

首相主催の「桜を見る会」私物化疑惑の真相の徹底究明を求める意見書

安倍晋三首相主催の「桜を見る会」に、首相の後援会関係者が大量に招待されており、税金で首相自らの後援会関係者を“おもてなし”するという税金の私物化疑惑が浮上しています。

安倍政権になってから、「桜を見る会」に総理の地元後援会員が数百人も招待されるようになりました。後援会主催の前夜祭とセットで宿泊先や交通手段まですべて安倍晋三事務所が手配し、今年の招待者1万8200人の内、自民党推薦枠は6000人、安倍総理枠1000人、昭恵夫人の推薦枠もある事が明らかになりました。これら一連の流れは「国民の税金で大々的に地元後援会を接待する」税金の私物化と疑惑がもたれ、国民の政治不信を広げています。

疑惑の第一番はまず、参加者の問題です。反社会的人物が招待されていたことが発覚し、誰が、どの様な理由で招待したのか明らかにされなければなりません。

疑惑の第二は総理の後援会の前夜祭が会費5000円で行われ、それが政治資金収支報告書に記載されていない問題です。総理は「夕食会を含め、旅費、宿泊費等、会の費用は参加者の自己負担で支払われている」と説明していますが、もし安倍後援会が費用を負担していたら、公選法が禁止する供応・買収にあたる可能性があります。

疑惑の第三は、今年の招待者の名簿を廃棄した時期の問題です。5月9日、国会で資料請求したその日に内閣府は名簿を廃棄したとしています。「疑惑隠し」との声が広がっています。またデータセキュリティの観点からも、重要な招待者名簿を軽々に廃棄してしまうのは深刻な問題であると指摘されています。

安倍首相は「来年は中止」するとして幕引きを図ろうとしています。国民の納得は到底得られません。

共同通信社が実施した全国電話世論調査では、「桜を見る会」に関する一連の安倍首相の発言を「信頼できない」と答えた人は69.2%に上りました。税金を使って開く「桜を見る会」に安倍首相の地元後援会関係者が多数招待されていたことについて「問題だと思う」との回答は65%です。また、「桜を見る会」に反社会的勢力の関係者が参加していたと指摘されていることについて、誰の推薦でどのような人物が招待されていたのか、「政府が明らかにすべきだ」は64%であり真相の究明が求められます。

よって政府に於かれましては、首相主催の「桜を見る会」私物化疑惑に国会での真相の徹底究明を行う事を強く求めます。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出します。

令和元年12月13日

埼玉県吉川市議会

提出先

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣